



「新たな教師の学びの実現に向けて」教育研究所 所長補佐 川端啓介

新年、明けましておめでとうございます。本年も、教育研究所の取組に対し、教職員の皆様の御理解、御協力、そして施設の御活用をお願い申し上げます。

さて、令和四年十二月十九日に開催された中央教育審議会総会において、「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成」が取りまとめられました。その中で、「新たな教師の学びの姿」として、次の点が方向性として示されています。

子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」（個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」）を実現。

主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても重要なロールモデルであると説明し、一人一人の教員が主体的な教員研修に取り組みよう促しています。

毛涯章平氏の「教師十戒」に「教師の力以上には、子どもは伸びない。精進を怠るな。」とあるように、学校教育がその成果を十分にあげることができるといえるかどうかは、教師の力によるかどうかと言えます。今後「令和の日本型学校教育」を実現できるかどうか、時代の変化に応じた高い資質能力を身に付けた教師の存在にかかっています。

令和四年七月一日より教員免許更新制は発展的に解消されました。今後は、教師や学校のニーズや課題に応じて、個別最適で協働的な学びを主体的に行う「新たな教師の学びの姿」の実現に向け取り組んでいきます。

今年の干支は「癸卯（みずのとう）」です。十干の最後にあたる癸（みずのとう）は、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しています。また、「卯（う）」は穏やかなウサギの様子から安全、温和の意味をもちます。他にもウサギのように跳ね上がるという意味があり、何かを開始するのに縁起がよく、物事が好転する良い年になると言われています。教育研究所では、教職員の皆様の成長と飛躍を支えていけるよう努めていきます。



休館日のお知らせ



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 休館	2 休館	3 休館	4	5	6	7
8 休館	9 休館	10 休館	11	12	13	14
15 休館	16 休館	17	18	19	20	21
22 休館	23 休館	24	25	26	27	28
29 休館	30 休館	31				

賀正

令和五年のスタートです。今年一年が、岡崎の教育の益々の発展と、児童生徒をはじめ保護者、教員の皆さんにとって、すばらしい年になることを心よりお祈り申し上げます。

